

4月3日・・・イスタンブール

【ヒポドローム（古代競馬場，戦車競争場跡）】



エジプト（カルナック神殿？）
から運んだオベリスク

宮殿の支柱などもあちこちから運び込んだ模様
・・・技術不足，単なるずる？

ギリシャから運んだオベリスク
青銅製の3匹の蛇
（穴の底が当時の地表面）



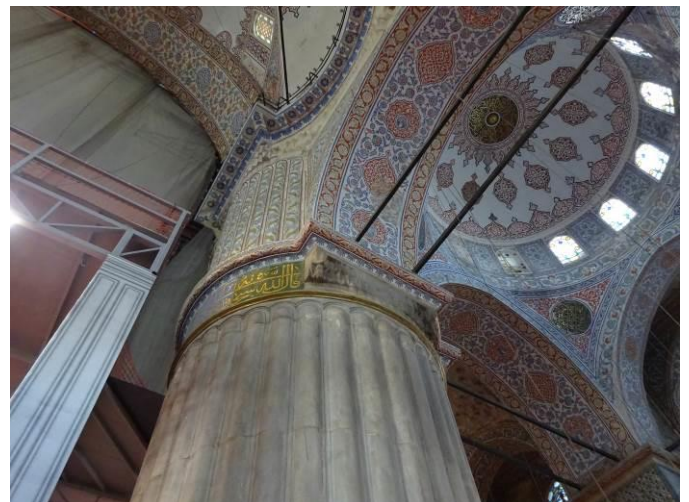
コンスタンチヌス7世によるオベリスク
・・・表面は青銅で覆われていたとのこと



【ブルーモスク】



世界一美しいとされるブルーモスク
尖塔の6本のうち，1本改修中
内部の柱（右写真）：直径5m. 天井はタイル貼り



○トルコ式公衆風呂（ハمام）跡



…ブルーモスクとアヤソフィヤの間に建設

【アヤソフィヤ】…西暦360年にキリスト教の大聖堂として建設→イスラム教のモスクに改修→現在は博物館



アヤソフィア



大理石を半分に割って、開いた状態
…研磨作業が想像を絶する



モザイク画の最高傑作（ディーシス：嘆願）
…イスラム教のモスクとして改修する時に塗りつぶされていたものが発見された

これも大理石





ベルガマの罎（高さ 1.5m, 大理石）



上階へあがるための斜路・・・2輪馬車も通った

【トプカプ宮殿】・・・オスマン帝国君主の住居
・・・後にハレム（宮廷の女 1000 人が居住する大奥）を設置



一つのデザインを、大人数で模写→タイルの量産
・・・現在の技術では、同じ色を出すことができないとのこと



西暦 1700 年頃の伊万里焼も展示



レンガを敷き詰めたドーム構造



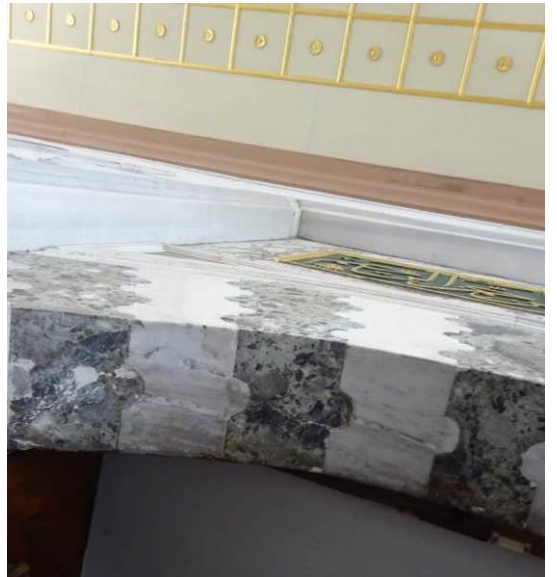
きめ細かい作業



床（ハニカム構造を意識？）



大理石を埋め込んだデザイン



日本の組木技術を思わせる
…尖塔もこのような技術で組み立てられているのか？

【市内】



水道橋



トルコ風？



尖塔と地震

震源地が近い場合は、真っ先に倒壊している例があり、イスタンブールでは、たまたま難を逃れているのが実態のように思われる。

なお、90km程度離れたイズミット地震（1999年、M6.7）時には、尖塔の先端部で折れ曲がる等の軽微な被害がでた模様。塔の内部構造を知りたいものである…



路盤敷石（異なる形のもの貼り付けている）



ラム肉を使ったトルコ料理。全般にパンがおいしい…。イギリスとの比較が話題に基本的には料理コースを提案するガイドさん次第と思われる



清掃人を見かけるなど、街中はきれい



リング形のごまパン（シミット）



ホテルのロビー



半球状噴水



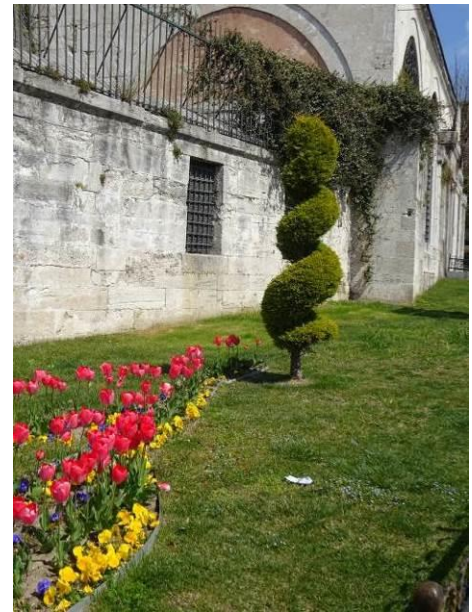
とうもろこし



エクスパンド式？高所作業車



ホテル近く



蛇？



中央分離帯でくつろぐ犬...



仰向けで寝る（左）など、リラックスした犬が多い
“食用”の恐れがなく、石をぶつける人もいないためか